

科目名	コンピュータと情報2（幼稚園教諭二種必修）		
授業形態	講義	学年	1
開講時期	2023年度 前期	単位数	1
担当教員	高田 正哉		
内容および計画	本講義は、「コンピュータと情報Ⅰ」の内容を踏まえ、ICT機器の利活用のあり方を学ぶものである。具体的には、現代社会におけるICT機器の利活用の実際と応用について学び、教育／保育／福祉等の社会実践における基礎的な資質・能力を涵養する。そのために、以下のような事項を主に学ぶ。本講義では、「コンピュータと情報Ⅰ」で学んだことを念頭に置き、具体的にICT機器を利活用した実践を考える。本講義を受講する学生は、「主体的・対話的で深い学び」の考え方を理解しつつ、自らも一人の学び手として積極的に参加することを求めたい。		
1	ガイダンス 本講義では、「コンピュータと情報Ⅱ」の到達目標を提示し、講義の全体像を示す。また、学生自身が講義内で身につけていくICT機器の利活用スキルを理解できるよう、講義中に学びのデザインをしていくことを求める。		
2	オンライン通話ツールの利活用？ オンライン通話ツール（zoom、Google meet など）の利活用法を学ぶ。オンライン通話ツールは、現代社会において基礎的なインフラとなっている。生涯にわたる利活用のあり方を考え、教育／保育／福祉の現場での利活用のあり方を考える。		
3	オンライン通話ツールの利活用？ オンライン通話ツールを用いて、ICT機器を用いた実践を試みる。本講義では、遠隔地での実践を考えるため、2カ所以上の通話を念頭においた実践を考える。		
4	オンラインホワイトボードの利活用？ 現在、多くの現場においてオンラインホワイトボードが用いられている。子どもから大人、高齢者にわたり、アイデア創出の現場等でオンラインホワイトボードの利用法は模索されている。本講義では、オンラインホワイトボードの可能性を、実際に利用しながら考え、教育現場での利活用法を考える。		
5	オンラインホワイトボードの利活用？ 本講義では、オンラインホワイトボードを用いた実践を考え、実際に試みる。電子黒板等を利用しながら、子どもから大人、高齢者まで幅広く電子黒板等を用いた相互的な学びを展開していくための計画を考える。		
6	SNSの利活用 SNSは現代社会のインフラの一つとなっている。本講義では、SNSの利活用法を学び、実践の中でどのように用いていくかを考える。		
7	オンラインツールの利活用 Google Drive等のデータ共有サービス、SNSなどのソーシャルなサービスは、空間にとらわれないコミュニケーションを展開する上で欠かせないものとなっている。本講義では、これらのサービスの可能性を考え、学校・施設等の学びを広く発信し、多くの人たちやコミュニティとのつながりを可能にしていく実践を考えていく。		
8	まとめ：「デジタル・シティズンシップ」とは 情報社会の拡大に伴い、多くの人々がこれまでとは異なる教養を身につけ、関わりを広げている。そのような社会において基本的な資質・能力を定義するために考えられているのが、「デジタル・シティズンシップ」である。本講義では、「デジタル・シティズンシップ」のあり方を学び、これまでの学んだ知識・技能と結びつけることで、よりよい社会の担い手を育て上げる教師・保育者・ソーシャルワーカーとしての資質・能力の意味を理解する。		
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
教科書			

タイトル	著者名	出版社	ISBN	発行年

本講義では、特定の教科書を用いないものの、高等学校「情報」の教科書やノートを事前に閲覧することを推奨する。

参考書	教育あるある探検隊 『学校 ICT サポートブック』学事出版、2021 年。 情報ネットワーク教育活用研究協議会監修、ICT 支援員編集委員会編 『学校の ICT 活用・GIGA スクール構想を支える ICT 支援員』日本標準、2021 年。
------------	--

成績評価	
評価方法	割合(%)
講義中の課題実施及び提出状況とその内容	50
期末課題の提出状況、内容	50

学習到達目標	教育実践における ICT の利活用にあたってのコンピュータの基本的な動作を身につける。講義内で演習する項目は多岐にわたるが、その主な目的は教育実践・教職員間でのコミュニケーションを円滑にすること、子どもにわかりやすく情報を示すことができることの 2 つである。これらのことを身につけることで、幼児教育の実践、および学級経営・学校経営における ICT の利用のための基本的な技能を身につけることができる。
先修条件	入学後のコンピュータガイダンスにおいて、基本的な環境設定が指示されるので、各自で設定の方法を理解し、完了させること。わからないことがある場合は、本講義の担当教員、あるいはコンピュータ委員の教員に事前に質問すること。
実務経験	福島県内の教育委員会における ICT 支援業務
その他	本講義は、就職後の幼児教育実践における基本的な知識・技能を身につけることを目指している。本学では、主に Windows OS を利用しているが、学生のみなさんが就職する自治体・園・施設によっては、異なるシステムを採用していることもある。それゆえ、本講義で取り扱う知識・技能は、共通のものではない。ただ、本講義では、皆さんが講義で身につけた知識・技能を基礎として、各自の就労先で応用して利用できるようになることを目指している。本講義で ICT に興味が出た学生は、ぜひ将来のキャリアにおける ICT のあり方を自ら調べ、自学自習することを推奨する。